

## 全国認定こども園協会からの情報提供

(緊急事態宣言が出されている都府県のA市の園の状況)

認定こども園における新型コロナウイルス感染症発生の現状について (情報提供)

### ～保護者から園児への感染 (事例) ～

会員の皆様におかれましては、新学期早々の何かと慌ただしい中、新型コロナウイルス感染防止のための対策と園児や子育て支援事業等で来園する子どもと保護者、従事する職員等の安全・安心のために日々ご尽力され、心労も重なりながら鋭意ご努力されていることと拝察申し上げます。

さて、今回情報提供いたしますのは、当協会会員園で発生した新型コロナウイルス感染症に関わる事例でございます。

情報提供いただきました会員園様からは「まだ感染がひどくない地域の園でも、このような状況で園内での感染が起こるのだということを全国の会員様に知っていただき、今後起こり得る可能性のある事態への備えの参考にさせていただきたい」という思いからご連絡をいただいたものです。

在園児2名の保護者が新型コロナウイルス感染症と疑われる症状を発症し、保健所と連絡を取り合い、医療機関を受診している状態だったが、顕著な症状ではなかったため、PCR検査を受けられない状態が10日ほど続いた。保護者から園には報告がなく、在園児2名は通常通り登園していた。

その後、保護者に顕著な症状が現れ、PCR検査を受けられる段階になった時点で保護者から園に連絡があった。在園児2名はその日の昼に降園、自宅待機を行う。

その後、保護者の陽性が確認され、その翌日、在園児2名は発熱症状を発症し、PCR検査の結果、陽性が確認された。

保健所は在園児1名に数日前より鼻水が出る症状があったため、その日を発症日と判断し、その間園内で接触した者のうち特に濃厚接触であった職員5名と他2名をPCR検査、それ以外の接触者は経過観察となっている。

もうひとりの園児は発熱症状が出るまで大きな変化がなかったため、発症したのは発熱症状の段階とし、濃厚接触者はいないと判断した。

保健所の指導により、園内すべての消毒を職員数名と行い、現在園は休園措置を行い、濃厚接触者とされた園児と職員全員に電話にて健康状況を確認し、保健所へ連絡している。

今後、二次感染の恐れがない場合については2週間程度で保育が必要な家庭のみ特別保育を実施することを検討しているが、市内全保育施設を臨時休園とする措置が発出されたため、社会生活の維持に必要な業務に従事しており、家庭保育ができない家庭のみ特別保育を実施することを決定した。

《今回の休園措置を経験して》

- ・マスクやアルコール消毒液などの衛生用品が不足している中、当園はできる限りの感染対策を講じ、在園児と職員の安全を守ろうと日々努力していますが、保護者ご自身やご家族の体調の状況をお伝えいただけない場合があります、その子どもが通常通り登園してしまうことにより、他の園児とその保護者(家庭)及び職員の感染リスクを高めてしまっています。
- ・保護者の中には、体調が思わしくなく、すでに保健所と連絡を取り合っているケースでも園に連絡を入れない(保護者が言わない)ことがあります。保護者、家庭全体への健康状況の把握までは困難です。
- ・市内全保育施設を臨時休園する前までの運用では、他の園児並びに保育従事者の感染リスクがあがり、ひとたび園内で感染者が出てしまうと、社会生活の維持に必要な職業に従事されている方やひとり親家庭など、本来保育を必要としている方への保育を行えない状況になります。さらに、認定こども園等から感染が広がれば、当該園児とその家庭のみならず、大勢の在園児及び保育従事者、それに連なる家族全体まで拡大し、大規模なクラスターとなり、医療崩壊へと繋がりがねないと恐ろしく思っています。